

	教育や福祉の現場で活用されやすいよう、心理アセスメントの視点として、認知的傾向を取り上げる。
第 4 回	<p>テーマ：個別相談 2</p> <p>スクールカウンセリング事業のひとつである個別相談を取り上げ、児童生徒の心理アセスメントの視点について解説する。</p> <p>教育や福祉の現場で活用されやすいよう、心理アセスメントの視点として、リソースへの着目やリソースの見つけ方を取り上げる。</p>
第 5 回	<p>テーマ：個別相談 3</p> <p>スクールカウンセリング事業のひとつである個別相談を取り上げ、児童期や思春期を対象としたカウンセリングについて解説する。解決志向療法を取り上げて、その概要や教育領域で用いる際の留意点について解説する。</p>
第 6 回	<p>テーマ：個別相談 4</p> <p>児童期を対象としたカウンセリングについて、教育領域において解決志向療法を用いた支援事例を提示し、その概要や保護者との連携の在り方、教育領域で用いる際の留意点等について検討する。適宜、ディスカッションやグループワークを行う。</p>
第 7 回	<p>テーマ：個別相談 5</p> <p>思春期を対象としたカウンセリングについて、教育領域において解決志向療法を用いた支援事例を提示し、その概要や保護者との連携の在り方、教育領域で用いる際の留意点等について検討する。適宜、ディスカッションやグループワークを行う。</p>
第 8 回	<p>テーマ：コンサルテーション</p> <p>解決志向療法の考え方に基づいたコンサルテーションの進め方について解説する。また、教員と専門職、保護者が連携しながら支援を行った事例を提示し、コンサルテーションや連携の在り方について検討する。適宜、ディスカッションやグループワークを行う。</p>
第 9 回	<p>テーマ：心理教育プログラム 1</p> <p>スクールカウンセリング事業のひとつである心理教育プログラムを取り上げ、その目的や概要について解説する。</p> <p>適宜、グループワークを実施する。</p>
第 10 回	<p>テーマ：心理教育プログラム 2</p> <p>引き続き、スクールカウンセリング事業のひとつである心理教育プログラムを取り上げる。心理劇やロールプレイングを用いた心理教育プログラムを実際に行い、その意義について参加者としての体験も踏まえながら検討する。ロールプレイングなどのグループワークやディスカッションを行う。</p>
第 11 回	<p>テーマ：心理教育プログラム 3</p> <p>引き続き、スクールカウンセリング事業のひとつである心理教育プログラムを取り上げる。臨床動作法を用いた心理教育プログラムを実際に行い、その意義について参加者としての体験も踏まえながら検討する。グループワークやディスカッションを行う。</p>
第 12 回	<p>テーマ：心理教育プログラム 4</p> <p>引き続き、スクールカウンセリング事業のひとつである心理教育プログラムを取り上げる。認知行動療法を用いた心理教育プログラムを実際に行い、その意義について参加者としての体験も踏まえながら検討する。グループワークやディスカッションを行う。</p>

第 13 回	<p>テーマ：危機介入</p> <p>学校内外で児童生徒に生じる危機的事態に対する学校の対応やその留意点について心理学の視点から解説する。また、事例提示を行いながら、危機介入におけるスクールカウンセラーの果たす役割についても紹介する。</p>
第 14 回	<p>テーマ：多職種との連携</p> <p>児童虐待の事例を提示し、学校における児童虐待への対応について心理学的視点から理解を深めるとともに、学校内外での多職種と連携のあり方や重要性について学習する。</p>
第 15 回	<p>テーマ：まとめ</p> <p>これまでの授業内容の振り返りを行う。スクールカウンセリングの現状や課題について整理する。</p>
テキスト	授業中に適宜レジュメ等を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>「明解！スクールカウンセリング」黒沢幸子・森俊夫・元永拓郎（著），金子書房。</p> <p>「指導援助に役立つ スクールカウンセリング ワークブック」黒沢幸子（著），金子書房。</p> <p>「学校で活かす いじめへの解決志向プログラム一個と集団の力を引き出す実践方法」スー・ヤング（著）黒沢幸子（監訳），金子書房。</p>
課題に対するフィードバックの方法	レポートを通じて出された授業内容に関する質問や感想については、適宜授業内で取り上げ回答する。
学生へのメッセージ・コメント	積極的に授業に参加し、学んだ内容を自身の実践に結び付けて考える姿勢が求められる。

